

ゾクゾクッで『葛根湯』、熱が出てしまったら『麻黄湯』

ポイントは服用のタイミングで「発熱時」に

ワクチンが足りない、週を追う毎に学級閉鎖の数が増えている等々、新型インフルエンザの広がりに振り回されている昨今、漢方の『麻黄湯』がよく効くらしいと話題になっていきます。「予防に服んでおけば罹りませんか？」との相談がありました。でも最大の予防は、体力づくりと疲れを溜め込まないことです。

温を上げて免疫力を強化しウイルスを撃退します。ウイルス撃退後にも高体温が続くと、からだの消耗が激しなります。そこで、発汗して体温を下げて、体を元に戻します。風邪の引き始めには『葛根湯』が有名です。ゾクゾクッと寒気がしたら、すぐに服用すると、体温を早く押し上げ、その後、発汗させて治すのです。



『麻黄湯』は風邪の引き始めのゾクゾクッと寒気を感じた時点で服用してはいけません。それでは結果として、風邪をこじらすことになりかねません。高熱で苦しいときに、食前であれ、食後であれ、食事の時間に関らず服用すれば、汗が出て、スッキリするので、

「頭寒足熱」と言われる「頭寒足熱」と言われる発汗させて熱を下げます。『タミフル』『リレンザ』は、体温が上がって免疫により、インフルエンザ・ウイルスを撃退したそのあと高体温で、体温を下げるためのスイッチが入り難くなっているときに用います。

新型インフルエンザと漢方の『麻黄湯』

なにわの漢方薬3代目主人

ように、足を温めて頭は冷やすことが健康生活の基本です。脳の温度が上がり過ぎると自律神経のコントロールに狂いを生じます。高体温が続くと、インフルエンザ脳症になってしまいます。だから『麻黄湯』で早く熱を下

出た後、急速に体温が下がり、次の日には、何も無かったかのような状態になるのです。『タミフル』『リレンザ』は、発病前には、何も無かったかのような状態になるのです。『タミフル』『リレンザ』は、発病前に、『タミフル』や『リレンザ』を服用するのは、早めに栓が抜けないようにして、ウイルスが体内で増殖するのを抑えるためです。『タミフル』や『リレンザ』は、発病後に用いても余り効果は期待できません。

エタノール消毒は新型インフルに有効だが、ウイルスには、エンベロープという脂質膜を持つものを持たないものがあります。インフルエンザ・ウイルスは、必ずエンベロープという脂質膜を持っていて、エタノールでその脂質膜を溶かしてしまおうと、確実にイ

ンフルエンザ・ウイルスを死滅させることができます。ただし、濃度の薄いエタノールでは、脂質膜を溶かすことができません。ビールやワインのような濃度のアルコールでは効果がありません。除菌や殺菌・消毒の表示のあるエタノールを上手に使うことも予防上のポイントの一つです。要は、日頃から自律神経を不安定にする寝不足や過労状態の生活を避け、最悪、ゾクゾクとした時点では『葛根湯』、熱が出てしまったら『麻黄湯』を服めるように準備をすれば、新型インフルエンザ対策は万全で安心です。(永井達夫 東洋漢方製薬(株)代表取締役社長)